

2012年5月 NO.3

自主防災の基本

防災だより

【自助】:自らの【命・家族】は、自ら守る
 【共助】:自主防災はB自治会が防災隊
 【近助】防災は【近所の助け合い】が使命

発行者 B茅ヶ崎自治会・「これからの自治会活動」検討プロジェクト

* 家具の（転倒・移動・落下・破損）の防止および再配置 *

家具は私たちの生活必需品,しかし、大地震の時は、凶器に変身します。

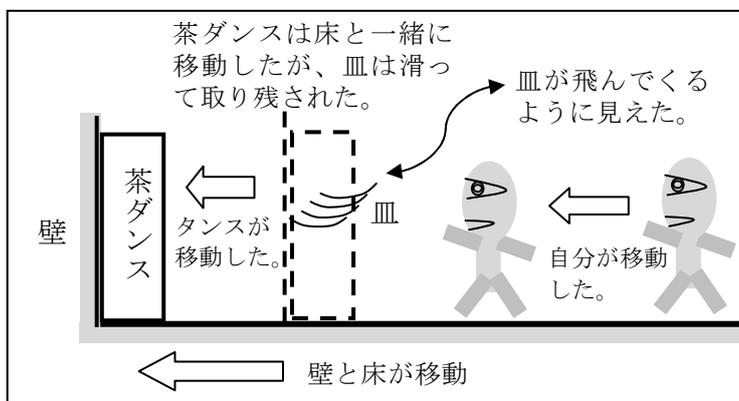
単に、転倒だけではありません。移動、落下、破損など、家の中で家具がブツカリ、

当たり、家具の散乱状況となります。家具の下敷きで死んだり、負傷したりします。足の踏み場も無い状況となります。防止策を考え、防災対策をして被害を最小限にしましょう。

阪神・淡路大震災時の体験者の話1

☆ 皿が飛んできた ☆

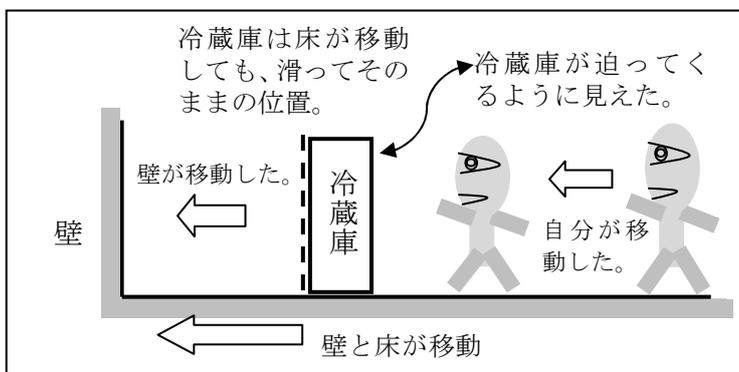
茶ダンスが地震で急に床から滑って移動したため、滑り残った皿がその位置で浮いたため、自分は、床と一緒に移動していることから皿が飛んで来たように見えた。



阪神・淡路大震災時の体験者の話2

☆ 冷蔵庫が迫ってきた ☆

冷蔵庫が地震で、床から滑ってそのままの位置を保ったが、自分は、床と一緒に移動しているため冷蔵庫が迫ってくるように見えた。



教訓

防災は、日々の積み重ね。いろんな場合を想定し、コツコツ対策を打ち続けることが欠かせない。(日経 2012, 3, 10 福沢淳子)

★ 防災に関する、
 種々の疑問や、問い合わせ、相談は下記へ ☆

茅ヶ崎市 防災安全部 防災対策課 0467-82-1111 (3281, 3282)、
 藤沢市 総務部 災害対策課 0466-25-1111 (8500)

★ 本紙に関する
 連絡・問い合わせ先 ★

坂上 (B-24-20)
 Tel/Fax 53-1351
 y.sakaga@jcom.home.ne.jp

* わが家の家具の防災チェック *

阪神・淡路大震災（平成7年）ではほとんどの家具が倒れ、タンスなどの下敷きになって死傷者が出ました。

自分や家族を守るために家の中の安全を確認しておきましょう。チェックポイントは下記のとおり。

★ 警視庁HPより抜粋 ★

(参考)

- 家具は固定しているか。
- 食器棚や本棚の中身は飛び出さないようにしているか。
- 高い場所にある荷物は落ちないようにしているか。
- 寝る場所に倒れやすい家具は置いていないか。
- テレビなどの電化製品は倒れないようにしているか。
- ガラス窓やガラス戸の飛散防止対策はしているか。
- 部屋の中は、整理整頓しているか。
- 2階建ての家屋では、なるべく2階に寝るようにしましょう。
- 枕元には停電に備え懐中電灯や笛を、また、足をけがしないように靴やスリッパを置いておきましょう。

家具や家電製品を固定する部品・器具

- ①ストッパー
- ②ワイヤー式器具
- ③粘着マット
- ④ポール式
- ⑤観音開き扉の固定
- ⑥L型金具
- ⑦ベルト式器具
- ⑧粘着ベルト
- ⑨天上吊り落下防止-

★ 大地震時の家具の状況（各家や家具の状況によって異なる）★

タンス	大地震の時の状況（体験者の話から抜粋）
家具など	床との滑りが悪いと、前へ倒れる。（転倒） 床との滑りが良いと、滑って前へ出る。（移動）
本棚	転倒、本は飛び出し、散乱する。
茶ダンス	皿が飛んでくる。（1/4 参照） 落下して散乱する。家と茶ダンスが素早く移動したため、皿の底のすべりが良くと置き去りにされて、飛んで来たように見える。 他の物はずれて、落下して散乱する。
冷蔵庫	迫ってきた。（1/4 参照） 移動、転倒するときもある。床が素早く移動したため、冷蔵庫と床のすべりが良く、冷蔵庫が置き去りにされ、床と一緒に移動した人間からは迫ってくるように見える。滑りが悪いと転倒する。
ショウケース	外れたり、落ちたりして硝子は割れ、散乱する。
テレビ、花瓶、置物	転倒し、ガラス、陶器は割れ、置物は散乱する。
テーブル、イス、ピアノ他	固定されていないことが多いのでアチコチ動き回り、アチコチにぶつかる。
天井釣り物	大きく揺れ動き回る。外れて落下して散乱する。
室内冷暖房器	壁掛けのフックが外れて飛び出し落下する。

(情報元) 警視庁HP、県のたより No. 667 , (問い合わせ) 県災害対策課 045(210)3425